

# 畜産



農林水産部 畜産試験場  
比内地鶏研究部  
研究員 青谷 大希

## 経歴 採用9年目

- H24年 農林水産部 畜産試験場 比内地鶏研究部
- H23年 学術国際部 農林水産技術センター 畜産試験場 比内地鶏研究部
- H22年 入庁 学術国際部 農林水産技術センター 畜産試験場 中小家畜部 比内地鶏担当

## ある日のスケジュール

- 8:10 出勤(自家用車)
- 8:20 現場でミーティング
- 8:30 比内地鶏の観察、清掃、給餌
- 9:30 事務所で実験データ入力・解析、問合せ対応、事務作業
- 12:00 昼食
- 13:00 事務作業のつづき
- 14:00 現場で給餌量の計測、鶏の人工授精、鶏舎・鶏の見回りなど
- 16:30 事務所で事務作業
- 17:30 退庁
- 18:30 帰宅
- 19:00 夕食、子供とお風呂
- 21:30 夜の家事(掃除・洗濯)  
※朝の家事は妻が担当



## わたしの職場はこんなところです

畜産試験場は、秋田県の畜産業の発展や畜産農家の所得向上を目的として、牛や鶏等の家畜や飼料に関する試験研究を行っている機関です。予算の執行をはじめとする事務全般、および他課、他機関との連絡調整等を行う「総務企画室」、牛や飼料等について研究を行っている「飼料・家畜研究部」、日本を代表する地鶏の一つである比内地鶏に関する研究を行っている「比内地鶏研究部」で構成されています。また、家畜の飼養管理を行う現業職員や、研究補助等を行う非常勤職員も在籍しています。総勢52名と多くの職員が働いており、非常に明るく活気あふれる職場です。

## わたしは今、こんな仕事をしています

私が所属する「比内地鶏研究部」のミッションは、比内地鶏の生産基盤を維持・強化していくことと、比内地鶏の生産振興に役立つ技術を開発することです。前者では比内地鶏の種鶏(親)である、比内地鶏とロード種を維持、改良し、県内の<sup>もと</sup>素びな生産者からの申請に基づいて譲渡しています。後者は試験研究になりますが、私は現在、生産者における収益性を向上させるため、比内地鶏の飼育期間における事故を予防し、出荷重量を高める生産方法の開発を目指して、鶏の行動特性(性格や習性)に関する研究に取り組んでいます。

## 秋田県のここが好き！

一番は自然が豊かで、四季折々の味覚やレジャーを楽しめるところです。また、秋田県は文化の宝庫でもあります。県内各地の祭りや伝統芸能、工芸品、食など、秋田でしか体験できないコト・モノがたくさんあります。私自身もまだまだ知らないことばかりなので、いろいろなことに触れて秋田での人生を豊かに楽しく送っていきたいと思っています。

## 畜産職のやりがいはこちら！

畜産試験場では比内地鶏の種鶏群の管理や、種雄牛の造成に取り組んでいることもあり、自分たちの仕事で秋田の畜産の将来を創るのだという責任を日々感じています。プレッシャーもありますが、同時に大きなやりがいを感じます。一つ一つの仕事もたらす効果はわずかですが、着実に秋田の畜産を前進させるべく、常に緊張感をもって業務に取り組んでいます。畜産職としてはそのほかに、生産者の身近な存在として、指導・支援を行う普及担当や、家畜疾病の予防、畜産環境保全に取り組む家畜保健衛生所、秋田の畜産の舵取りを担う行政担当がありますが、それぞれの立場から秋田の畜産の発展という同じ目標に向かって業務に取り組んでいます。

## オフは何をしていますか？

子供がまだ小さいので自宅でゆっくり過ごすことが多いです。たまに友人を自宅に招いてパーティ(BBQやパブ会)をしたり、各地で行われるイベントに出かけたりもします。夏は竿燈が生活の中心になります。

## 採用試験の準備はどのようにしましたか？

県政概況や統計情報に目を通し、秋田県の強み、弱み、解決すべき課題について理解を深めるように努めました。受験分野にかかわらず、「秋田県の発展のために何が必要か」という点について自分なりの考えをもっておくと思いいます。

## 秋田県職員採用試験の受験を考えている方へ、ひと言！

畜産を取り巻く国内外の情勢が年々厳しさを増しているなか、秋田の畜産は成長を続けています。さらに、耕畜連携や農地のフル活用による自給力の向上、高品質な生産物のブランディングによる収益性の向上など、秋田の畜産はまだ大きな可能性をもっています。皆さんが学んできた最新の知見と新鮮な視点を活かせる場がここにはあります。ともに秋田の畜産の発展のために力を尽くしましょう。